消 火 器 の 部 競 技 要 領

1　基本事項

（1）人　　員　　１チーム　２名（女子）

（2）出場順位　　各競技の出場順は、Google フォームでの参加申込み順。

（3）準 備 品　　ヘルメット（無い場合は事務局が貸出します）

事務局準備品　消火器（水消火器１０型）２本・消火バケツ２個

（4）審　　査

ア　計時は、操作所要時間の１００分の１秒まで計測する。

イ　所要時間は、開始の警笛から２名全てがゴールラインを通過する時間を計測する。

ウ　消火所要時間１秒につき１点の減点。所要時間減点と審査減点を合計し、持点２００点から合計点を引いた点数をチームの得点とする。

得点の大なるものを優位とする。

エ　同点の場合は動作減点項目の少ないチームを優位とする。

2　協定事項

（1）競技開始前

競技者はヘルメットを着用する。

（2）煙ハウス（出火場所の確認）

ア　ハウスの入口は係員によって開口される。

イ　ハウス内は人工の煙（無害）が充満しており視界が悪いため、競技者同士が衝突しないよう、十分注意して移動すること。

ウ　出火場所を伝達する位置はハウスを出てからであれば特に指定はなく、受令ライン待機者に近寄りながら伝えてもよい。

エ　出火場所は必ず声で伝えることとする。

オ　出火場所は、ハウス内に用意したバケツの底に明記してある。その際、３つ用意してあるが、どれを取っても良いものとする。

（3）消火バケツ・消火器（初期消火）

ア　出火場所を間違えた場合は失格とする。（他のチームの競技障害となった場合）

イ　競技障害を受けたチームは再競技を行うこととする。

ウ　消火バケツ設置場所には消火バケツが１つ用意されており、もう一つはテント内の出火場所が明記してあるバケツを使用するものとする。水のかけ方に指定はない。

エ　消火器設置場所には消火器が２本準備されており、２本同時に搬送してもよいが、２本同時使用は禁止する。

（１本目を使用中に２本目の安全ピンを抜いたら同時使用とみなす）

オ　消火バケツと消火器はゴールするまでに全て設置場所に立てた状態に戻し、（倒れても起こせば減点対象外）、設置場所ラインからはみ出ないように置くこととする。

3　減点項目

（１）出火場所を声で伝えなかった	－５点
（２）消火器を同時に２本使用した	－１０点
（３）ゴムボールを全て弾き出せなかった	－１０点
（４）消火バケツおよび消火器を要領どおりに戻さなかった	－５点
（５）その他動作を省略した（タイムに関すること）	－５点
（６）競技中に転倒した（両手や尻もちをつくなど明らかな転倒）	－１０点

4　服　　装

動きやすい服装とする。（スリッパ等は不可）

消 火 器 の 部　　実 施 要 領

実施項目	実　　施　　要　　領
待　　機	１競技で２チームまたは３チームが同時に競技する。 係員の指示により、１番員はスタートライン、２番員は受令場所で待機する。待機時のコースの指定は無い。
競技開始 （火災発生）	1番員 係員の警笛でスタートする。 2番員 受令場所で待機する。
煙ハウス (出火場所の確認)	1番員 出火場所確認のため煙ハウス内に入り、ハウス内に置いてある消火バケツ３個の内、１個を取る。煙ハウスを出てから受令ラインで待機している２番員へ消火バケツの底に書かれている番号の出火場所を大声で伝える。出火場所を伝えた後、消火バケツの底に書かれている番号の出火場所（火点）へ向かう。 2番員 受令場所で１番員からの伝令を待ち、１番員から出火場所の番号を聞いた後、番号の出火場所へ向かう。
消火バケツ・消火器 （出火場所の初期消火）	出火場所では２人で協力して競技を行う。一つは煙ハウス内に置かれている出火場所を明記した消火バケツを使用し、もう一つは水槽付近に用意されている消火バケツを使い、出火場所付近にある水槽の水を、消火ラインを越えないように、第１火点(水バケツ標的)にかけ、第２火点の水槽の水位を上昇させる。 第２火点の水槽の水位が上昇した後、用意されている消火器で、第２火点の水槽内に浮かんでいるゴムボール５個全てを水槽外に弾き出す。 ※第１火点と第２火点の水槽は配管で接続されており、第１火点へかけられた水は第２火点の水槽へと流れる。第２火点のボールは水槽の水位を十分に上昇させないと弾き出せない構造となっている。
競技終了	水消火器と消火バケツを全て設置場所に戻した後、受令場所のゴールラインを通過した時点で競技終了。